

# 木材利用シンポジウム2024 in 高知 ～木材の地中利用の促進～

日時: 令和6年1月22日(月) 13時～17時

場所: 高知大学 メディアホール(高知市曙町2丁目5-1)



木材利用を拡大すると大気中の二酸化炭素を取り除くことができ、温暖化対策となります。今後の利用ポテンシャルが大きいと期待されているのが、軟弱地盤対策などの地中利用です。本シンポジウムではその環境的意義、技術や事例、腐朽などの課題について解説します。

■ 13:00 開会

■ 13:05 講演

(基調講演) 地中木材利用の環境的意義と課題

外崎 真理雄氏 (森林総合研究所)

(講演 1) 丸太を使った液状化対策とその後の丸太の調査

沼田 淳紀氏 (ソイルウッド)

(講演 2) 地盤改良丸太の地下環境における生物劣化

堀澤 栄氏 (高知工科大学)

(講演 3) 軟弱地盤上の佐賀平野における木材の土木利用報告

～クリーク護岸などへの木材活用の歴史と課題～

宮副 一之氏 (株式会社九州構造設計)

(講演 4) 地中埋没した木杭の振動現象の解明

久保島 吉貴氏 (森林総合研究所)



■ 16:30 パネルディスカッション

■ 17:00 閉会

・お申込方法: QRコードよりお申込み下さい

<https://forms.office.com/r/VfBsnyt9V0>

・定員: 100名(先着順、当日申込不可)

・参加費: 無料



**CPDS**

認定講習

4ユニット

土木学会認定の継続教育(CPD)

認定番号: JSCE23-1687 CPDプログラム: 3.9単位



主催: 四国土木木材利用研究会、森林研究・整備機構森林総合研究所四国支所、高知大学防災推進センター、

(公社)高知県土木施工管理技士会

共催: (公社)土木学会木材工学委員会

後援: 公益社団法人地盤工学会四国支部